



東京

(第3面)

日測協 測量・地理空間の最新情報 オンラインで発信・議論

日本測量協会(日測協、清水英範会長)は、測量・地理空間分野の技術動向を発信し、人材育成や教育研修など幅広い分野について議論する「測量・地理空間情報イノベーション大会」を初めてオンラインで開催する。インターネット上に特設サイト(<https://innovativem.survey.jp/>)を設け、14日から20日にかけて配信する。今回は、新技術

の活用や測量分野のビジネス動向に加え、コロナ禍における働き方やDX(デジタル・トランスフォーメーション)もテーマとする。参加方法は事前登録制で、特設サイトから無料で申し込むことができる。プログラムはリアルタイム配信の他、任意のタイムシフトで視聴できるオンラインデマンドプログラムも

提供する。

主なプログラムのうち、リアルタイム配信では、14日にUAV関連技術の最新動向を紹介。また、リモートワーク環境での人材育成をテーマとしたパネルディスカッションも行う。

15日にはコロナ禍におけるゼネコンや測量企業の働き方を解説。3次元データの作成と活用についても説明する。

16日には国土省やゼネコン、建設コンサルタンのDXの取り組みを紹介

する。また、「測量業界の今」と題し、若手技術者と教育機関、企業の採用担当者で議論を行う。

また、大会動画の視聴により、測量系CPDの申請ができるようになる。

資料集の冊子は購入希望者のみに発送する。費用は、日測協会員が1000円、一般が2000円(いずれも税込み、送料込み)。資料の概要版はサイト内でダウンロードできるようにする。